

## 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議研修会・第1回部会の開催結果について

公文書館法及び「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」の理念に基づき、県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用について、県と市町村の一層の連携と共同での取組を進めることを目的に「県市町村歴史公文書等保存活用共同会議」を4月に設置したところです。このたび部会を立ち上げ、研修会及び第1回部会を開催しました。

### 1 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議研修会・第1回部会の概要

(1) 開催日、場所 7月26日(水)、エキパル倉吉

(2) 研修会

○講師：埼玉県立文書館 学芸主幹 あらいひろぶみ 新井浩文 氏

○内容：今年で43年目となる埼玉県地域史料保存活用連絡協議会（埼玉協）の県と市町村が連携した取組事例について説明。（埼玉協は、当初、県内市町村史編さんの課題について連携して取り組むことを目的に発足した。その後、県と市町村が連携し地域の重要な歴史資料の収集・保存・活用に取り組むための協議会となり、平成の市町村合併や東日本大震災を踏まえ、市町村における歴史公文書評価選別のためのガイドラインや災害時の資料救済マニュアル作成等の取組を行っている。）

(3) 評価選別部会

○部会長：倉吉市

○内容：鳥取県における歴史的に重要な公文書等の評価選別基準と評価選別の実務を紹介し、意見交換。  
今後、先進地の評価選別事例や各市町村における文書の保存の実情を踏まえながら市町村における標準的な評価選別基準を検討し、年度内を目標に基準を策定し来年度の共同会議へ報告する。

(4) 現用文書部会

○部会長：若桜町

○内容：県における文書管理事務の流れや県の電子決裁・文書管理システムを紹介し、市町村の標準的な文書管理手順や文書管理規程の作成等について意見交換。  
今後適切な文書管理方法について検討し、次回部会では、電子決裁・文書管理システム導入のメリット・デメリット等について検討する。

### 2 今後の予定

(1) 部会による個別課題の検討

第2回部会（評価選別部会・現用文書部会）の開催 8月30日(水)

(2) 普及啓発の推進

巡回企画展「鳥取大地震・西部地震・中部地震一被災から復興への記録―」（9月～10月、県内4カ所を巡回）

(3) 職員の資質向上のための研修等

①資料の保存・修復に関する研修会

②市町村への訪問指導・助言

(4) 災害時等の連携・協力体制の構築

県（公文書館、博物館、図書館等）と市町村の連携・協力体制の構築（計画策定中）